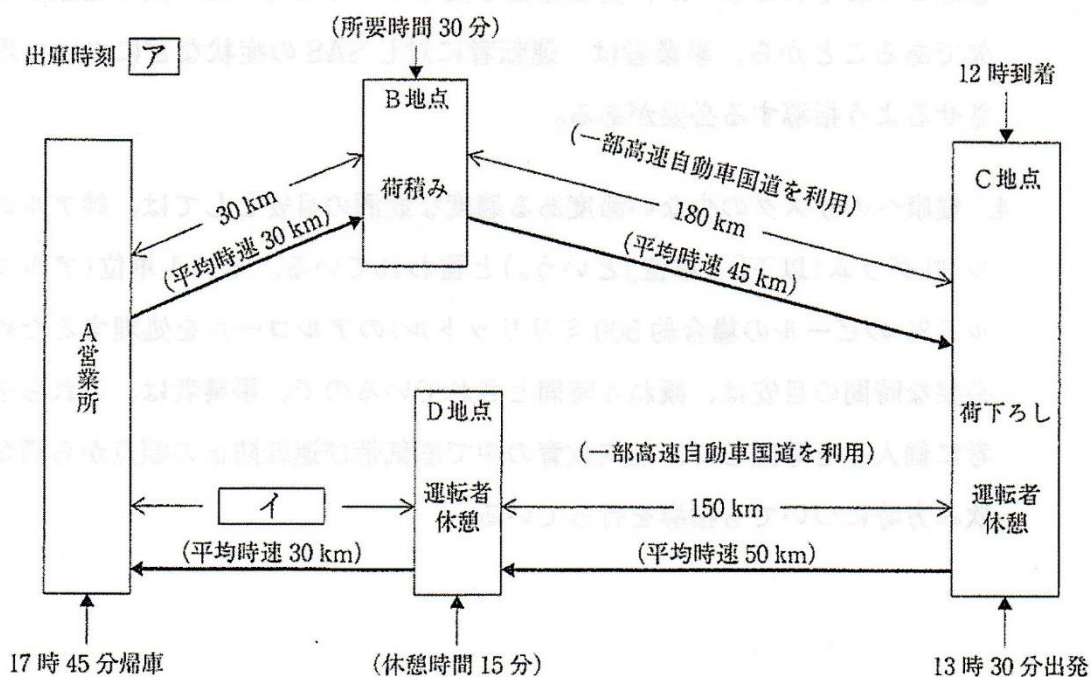


問29 01

荷主から貨物自動車運送事業者に対し、B地点で荷積みをし、C地点に12時に到着させるよう運送の依頼があった。これを受けて、運行管理者として運転者に対し当該運送の指示をするため、次に示す「当日の運行計画を策定するための前提条件」に基づき運行計画を立てた。この運行に関する次のア～ウについて解答しなさい。なお、解答にあたっては、「当日の運行計画を策定する前提条件」に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

[当日の運行計画を策定するための前提条件]

- A営業所を出庫し、30キロメートル離れたB地点まで平均時速30キロメートルで走行する。
- B地点において30分間の荷積みを行う。
- B地点から180キロメートル離れたC地点までの間、一部高速自動車国道を利用し、平均時速45キロメートルで走行して、C地点に12時に到着する。
- 荷下ろし後、1時間休憩をとる。休憩後、A営業所に帰庫するため、C地点を13時30分に出発、一部高速自動車国道を利用し、150キロメートル先のD地点までの平均時速50キロメートルで走行して到着後、15分の休憩をとる。
- D地点からA営業所まで平均時速30キロメートルで走行して、A営業所に17時45分に帰庫する。



ア C地点に12時に到着させるためにふさわしいA営業所の出庫時刻について、次の1～4の中から正しいものを1つ選びなさい。

- ①. 6時30分 2. 7時00分 3. 7時30分 4. 8時00分

イ D地点とA営業所間の距離について、次の1～4の中から正しいものを1つ選びなさい。

1. 15キロメートル ②. 30キロメートル
3. 45キロメートル 4. 60キロメートル

ウ 当日の全運行において、連続運転時間は「自動車運転者の労働時間等の改善基準のための基準」に照らし、違反しているか否かについて、次の1～2の中から正しいものを1つ選びなさい。

- ①. 違反していない。
2. 違反している。

問29 01

交通事故防止対策に関する次の記述のうち、適切なものには解答用紙の「適」の欄に、適切でないものには解答用紙の「不適」の欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 適性診断は、運転者の運転行動、運転態度及び性格等を客観的に把握し、安全運転にとって、好ましい方向へ変化するよう動機づけすることにより、運転者自身の安全意識を向上させるためのものであり、ヒューマンエラーによる交通事故の発生を未然に防止するための有効な手段となっている。
2. 平成27年中の事業用貨物自動車第1当事者となった人身事故の種別発生状況をみると、「出会い頭衝突」が最も多く、全体の約半分を占めており、続いて「追突」の順となっている。このため、運転者に対し、特に、交差点における一時停止の確実な履行と安全意識の徹底を指導する必要がある。
3. 平成27年中の交通事故死者数のうち、65歳以上の高齢者の占める割合は、全体の約5割である。このため、運転者に対し、高齢の歩行者などは身体的機能の低下により危険の発見、回避が遅れることなどを考慮して運転するよう指導する必要がある。
4. 衝突被害軽減ブレーキは、レーダー等で検知して前方の車両等に衝突する危険性が生じた場合に運転者にブレーキ操作を行うよう促し、さらに衝突する可能性が高くなると自動的にブレーキが作動し、衝突による被害を軽減させるためのものである。当該ブレーキが備えられている自動車に乗務する運転者に対しては、当該ブレーキの機能等を正しく理解させる必要がある。

問 29 01

荷主から貨物自動車運送事業者に対し、往路と復路において、それぞれ荷積みと荷下ろしを行うよう運送の依頼があった。これを受けて、運行管理者として運転者に対し当該運送の指示をするため、次に示す「当日の運行計画」を立てた。

この運行に関する次のア～ウについて解答しなさい。なお、解答にあたっては、「当日の運行計画を策定する前提条件」に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

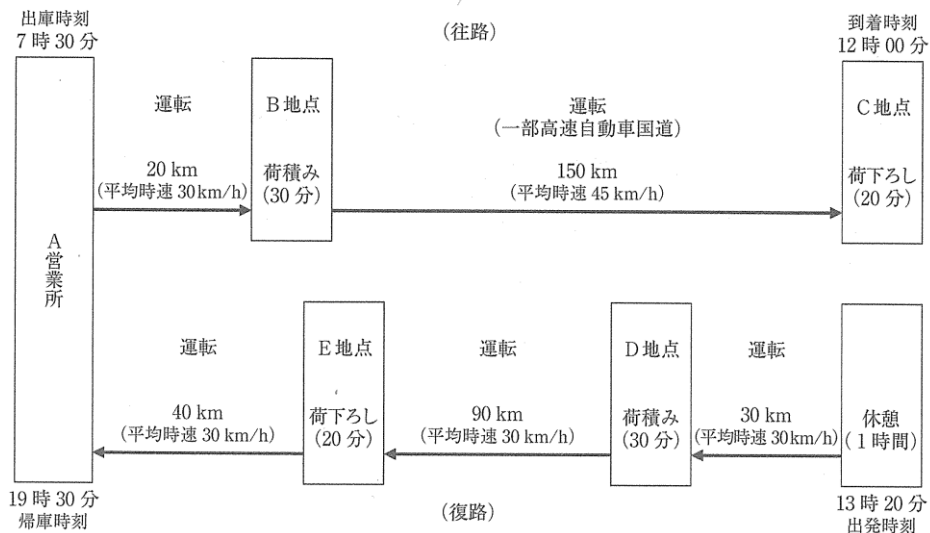
「当日の運行計画」

往路

- A営業所を7時30分に出庫し、20キロメートル離れたB地点まで平均時速30キロメートルで走行する。
- B地点において30分間の荷積みを行う。
- B地点から150キロメートル離れたC地点までの間、一部高速自動車国道を利用し、平均時速45キロメートルで走行して、C地点に12時00分に到着する。
- C地点において20分間の荷下ろし後、1時間の休憩をとる。

復路

- 休憩後、C地点を13時20分に出発し、荷積みのため30キロメートル離れたD地点まで平均時速30キロメートルで走行する。
- D地点において30分間の荷積みを行う。
- 荷下ろしのため90キロメートル離れたE地点まで平均時速30キロメートルで走行し、E地点にて20分間の荷下ろしを行う。
- 荷下ろし後、帰庫のためE地点から40キロメートル離れたA営業所まで平均時速30キロメートルで走行し、A営業所には19時30分に帰庫する。



ア B地点とC地点の間の運転時間について、次の1～3の中から正しいものを1つ選びなさい。

1. 2時40分 **2. 3時間20分** 3. 4時間 ※テキスト記載間違い

イ 当該運転者の前日の運転時間は9時間であり、また、当該運転者の翌日の運転時間は8時間50分と予定した。当日を特定日とした場合の2日を平均した1日当たりの運転時間は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(以下「改善基準」という。)に照らし、違反しているか否かについて、次の1～2の中から正しいものを1つ選び、解答用紙にマークしなさい。

- 1. 違反している**
2. 違反していない

ウ 当日の全運行において、連続運転時間は「自動車運転者の労働時間等の改善基準のための基準」に照らし、違反しているか否かについて、次の1～2の中から正しいものを1つ選びなさい。

1. 違反していない。
2. 違反している。

問29 02

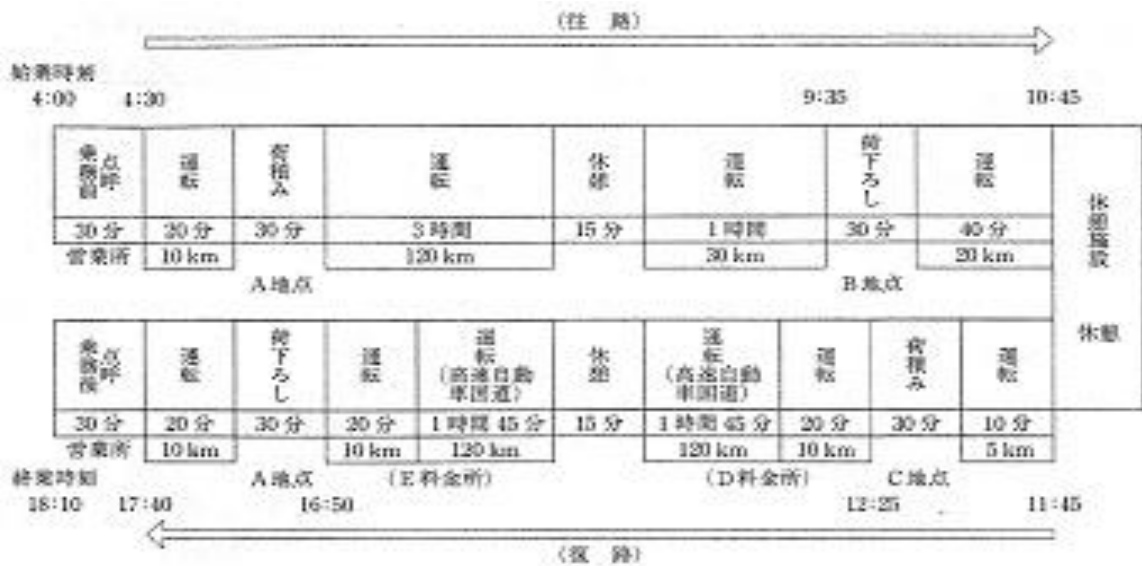
運行管理者は、荷主から運送依頼を受けて、次のとおり運行の計画を立てた。この計画を立てた運行管理者の判断に関する次の1～3の記述のうち、適切なものには解答用紙の「適」の欄に、適切でないものには解答用紙の「不適」の欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、〈運行の計画〉に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

(荷主の依頼事項)

A地点から、重量5,250 kilogramsの荷を10時30分までにB地点に運び、その後戻りの便にて、C地点から4,500 kilogramsの荷を18時までにA地点に運ぶ。
〈運行の計画〉

- ア 乗車定員2名で最大積載量6,000 kilograms、車両総重量10,950 kilogramsの中型貨物自動車を使用する。当該運行は、運転者1人乗務とする。
- イ 当日の当該運転者の始業時刻は4時とし、乗務前点呼後4時30分に営業所を出庫して荷主先のA地点に向かう。A地点にて荷積み後B地点に向かうが、途中15分の休憩をはさみ、B地点には9時35分に到着する。荷下ろし後、休憩施設に向かい、当該施設において10時45分から11時45分まで休憩をとる。
- ウ 11時45分に休憩施設を出発してC地点に向かい、積荷みを行う。その後、12時25分にC地点を出発し、一般道を20分走行した後、D料金所から高速自動車国道(法令による最低速度を定めない本線車道に該当しないもの)に乗り、途中15分の休憩をはさみ、3時間30分運転した後E料金所にて高速道路を降りる。(D料金所とE料金所間の距離は240 kilometers)その後、一般道を20分走行し、荷主先のA地点に16時50分に到着する。荷下ろし後、20分運転して営業

所に17時40分に帰庫する。営業所において乗務点呼を受け、18時10分に終業する。



1. D料金所からE料金所までの間の高速自動車国道の運転時間を、制限速度を考慮して3時間30分と設定したこと。
2. 当該運転者は前日の終業時刻は19時00分であり、また、当該運転者の翌日の始業時刻を3時30分としても、前日及び当日の各々の勤務後の休息期間は「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(以下「改善基準」という)に違反していないと判断したこと。
3. 当日の運行における連続運転時間の中断方法は改善基準に違反していないと判断したこと。

問 2 9 02

運行管理者は複数の荷主から運送依頼を受けて、下のとおり4日にわたる2人乗りによる運行計画を立てた。この2人乗務を必要とした根拠についての次の1～3の下線部の運行管理者の判断について、正しいものをすべて選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、〈4日にわたる運行計画〉に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

〈4日にわたる運行計画〉

前日 当該運行の前日は、この運行を担当する運転者は、休日とする。

始業時刻		出庫時刻												到着時刻	終業時刻	
4時		4時45分												19時15分	20時00分	
1 日 目	営業所	乗務前	点呼等	運転	荷積み	運転	休憩	運転	休憩	運転	荷下ろし	運転	乗務後	点呼等	(休憩)	(宿泊所)
		45分	1時間	1時30分	3時間	30分	2時間	1時間	3時間	1時30分	1時間	45分				
始業時刻		出庫時刻												到着時刻	終業時刻	
6時		6時45分												19時45分	20時30分	
2 日 目	宿泊施設	乗務前	点呼等	運転	荷積み	運転	休憩	運転	休憩	運転	荷下ろし	運転	乗務後	点呼等	(休憩)	(宿泊所)
		45分	1時間	1時間	3時間	1時間	2時間	30分	2時間	1時30分	1時間	45分				
始業時刻		出庫時刻												到着時刻	終業時刻	
6時		6時45分												19時45分	20時30分	
3 日 目	宿泊施設	乗務前	点呼等	運転	荷積み	運転	休憩	運転	休憩	運転	荷下ろし	運転	乗務後	点呼等	(休憩)	(宿泊所)
		45分	1時間	1時間	3時間	1時間	2時間	30分	2時間	1時30分	1時間	45分				
始業時刻		出庫時刻												到着時刻	終業時刻	
4時		4時45分												16時10分	16時55分	
4 日 目	宿泊施設	乗務前	点呼等	運転	荷積み	運転	休憩	運転	休憩	運転	荷下ろし	運転	乗務後	点呼等	営業所	
		45分	30分	1時間	2時間	1時間	1時30分	5分	1時30分	20分	2時間	1時間	30分	45分		

翌日 当該運行の翌日は、この運行を担当する運転者は、休日とする。

- ① 1人乗務とした場合、1日についての拘束時間予備休息期間が「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(以下「改善基準」という)に違反すると判断して、当該運行には交替運転者を配置した。
- ② 1人乗務とした場合、すべての日を特定日とした場合の2日を平均して1日当たりの運転時間が改善基準に違反すると判断して、当該運行には交替運転者を配置した。
- ③ 1人乗務とした場合、連続運転時間が改善基準に違反すると判断して、当該運行には交替運転者を配置した。